

# 「勝呂君(松崎分校)全国上位入賞」

…受賞作「雲」「墨の濃淡楽しんだ」…

特支文化祭書道

## 勝呂君(松崎分校)全国上位入賞

### 受賞作「雲」「墨の濃淡楽しんだ」



賞状を手に全国文化祭入選を喜ぶ勝呂君。右は県文化祭入選の大作「一致団結」=東部特別支援学校伊豆松崎分校

県立東部特別支援学 幸雄校長の勝呂優輝(肥出身)が、本年度の校文化祭・書道部門で校伊豆松崎分校(村本 君(3年)) 伊豆市土 第24回全国特別支援学 文部科学大臣賞、文化



墨の濃淡を楽しみながら書いた全国文化祭入選作「雲」

連盟会長賞など上位3賞に次ぐ「校長会長賞」に選ばれた。書道での全国上位入賞は、同分校で初めてという。学校関係者は「器用でセンスにあふれ、感性豊かな勝呂君ならではの力が認められた」と快

賞作は自由課題の「雲」(縦45センチ、横37・5センチ)で、勝呂君は「墨の濃淡を楽しみながら書き上げた。軽やかにたなびく雲や、どんよりとした雲、落雷を思わせる激しい雲など、いろいろと表現した中で、この作品は最

終画の「がすれ」が、まるで雲の中の水滴を表すかのような仕上がりになった所が気に入っている」と話す。講評では濃淡の表現が際立っている点が高く評価されたという。勝呂君は、2月上旬に県立美術館で開かれた本年度の県文化祭でも全長60センチの筆で書いた大作「一致団結」(縦2・8メートル、横75センチ)で、特別支援学校専門部会長賞に入選。書道を教える同校の小川いづ子講師は、「書道ならではの表現を心の底から楽しみ、向上心を持って取り組んでいる」と話し、さらなる飛躍に期待を込めた。